

2012 年度（平成 24 年度）

ガリラヤ荘事業報告

《 事業の種類 》

I. 特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）	定員 80 名
II. 短期入所生活介護事業（ショートステイ）	定員 20 名
III. 通所介護事業（デイサービス）	定員 30 名
IV. 居宅介護支援事業	
V. 在宅介護支援センター	

I. 特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）

1. 入所者の状況（平成 25 年 3 月 31 日現在）

【出身地別入所・退所状況】

出身地 (保険者)	保険者別入所者数			平成 24 年度中の移動状況					
				入所			退所		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
東温市	15	47	62	4	9	13	4	9	13
松山市	5	8	13	3	5	8	1	5	6
西条市		2	2						
大洲市		1	1						
伊予市		1	1				1		1
松前町		1	1						
久万高原町				1		1	1		1
合計	20	60	80	8	14	22	7	14	21

待機者数（平成 25 年 3 月末現在 89 名）

【年齢構成】

項目	男	女	全体
入所者数	20	60	80
平均年齢	82.7	87.8	86.5
最高齢	101	103	
最年少	64	68	

【要介護度別人数】

要介護度別	男	女	計
1	1	0	1
2	1	4	5
3	2	11	13
4	10	17	27
5	6	28	34
平均	3.95	4.15	4.1

2. 医療の状況

【受診状況】

科別	内科	外科	整形	泌尿器科	歯科	眼科	皮膚科	耳鼻科
実人数	53	2	13	4	9	1	1	2
延べ人数	94	2	15	32	13	1	1	10

*救急車出動要請 2回 (前年度 4回)

【入院状況】

	実人数	延べ日数	平均日数
4月	11	124	11.3
5月	12	160	13.3
6月	9	84	9.3
7月	8	134	16.8
8月	10	126	12.6
9月	14	159	11.4
10月	16	126	7.9
11月	10	170	17.0
12月	11	78	7.1
1月	10	113	11.3
2月	8	76	9.5
3月	9	104	11.6
合計	128	1,454	
月平均	10.7	121.2	11.4

*前年度実日数 124名

延べ日数 1,338日

【入院疾患別人数(延べ人数)】

疾患名	今年度	前年度
肺炎	24	31
心疾患	10	5
脳梗塞	0	5
膀胱炎・腎盂腎炎	10	3
腸閉塞	3	4
骨折	4	2
その他	28	19
合計	79	69

【医療管理状況】 平成25年3月31日現在

医療行為	今年度	前年度
胃ろう	9	11
腸ろう	1	1
在宅酸素療法	5	2
人工肛門	0	0
尿道留置カテーテル	3	3
インシュリン注射	2	4
痰の吸引(常時)	11	13

【感染症報告】

平成25年3月10日、厨房職員(委託)2名が退勤後に嘔吐症状あり。

翌3月11日早朝より施設入所者数名に嘔吐下痢症状発生。同日厨房職員2名とショート入所者1名よりノロウイルスが検出された。

3月12日、感染拡大が見られるため愛媛県中央保健所に連絡、2日間にわたり聞き取り調査と指導を受けた。

3月14日から23日までの10日間は、中央保健所に患者発生状況、中予地方局には発生状況及び臨時衛生管理委員会議事録を毎日報告・提出した。

3月23日に中央保健所の解除通知があり、終息となった。

〈ノロウイルス〉(陰性は疑いを含む)

	陽性	陰性	合計
特養入所者	4	14	18
短期入所者	1	1	2
特養職員	3	8	11
短期職員	0	6	6
合計	8	29	37

〈インフルエンザ〉

	A型	B型
特養入所者	0	0
短期入所者	0	0
特養職員	1	0
短期職員	1	0
合計	2	0

*厨房職員(委託) 11名中6名陽性

3. 機能訓練の状況

【週間スケジュール】

	担当	月	火	水	木	金	土
午前	介護職員	集団体操 (各ユニットにて)					
	機能訓練指導員	音楽クラブ (ショート)	風船バレー (特養1階)	音楽クラブ (特養1階)	風船バレー (特養2階)	音楽クラブ (特養2階)	
	介護職員	お口の体操 (各ユニットにて)					
午後	機能訓練指導員	フリー	中1丁目	南1丁目	中2丁目	南2丁目	フリー
			(第1週) 習字の会	(第2週) スナック会	(第4週) 俳句会		
	理学療法士 (非常勤)		個別機能訓練	個別機能訓練			個別機能訓練

【機能訓練内容】

職種	目的	内容
介護職員	生活リハビリ	朝の集団体操、お口の体操など
機能訓練指導員	個別機能訓練	関節可動域訓練、口腔リハなど
	集団レクリエーション	音楽クラブ、風船バレーなど
理学療法士(非常勤)	個別機能訓練	関節可動域訓練、立位・歩行訓練など

4. ユニットケアの状況

年間目標：「ケアのあり方を見直し、新しい施設介護の基盤作りを継続し、よりユニット環境を意識したケアを推進する。」

目的	方法	実践内容
グレードアップケアの実践に基づく有効かつ効果的な介護の実践 アドバイザー 泉田照雄氏の指導	記録システムの見直し	「総合記録シート」「介護日誌」「ユニット会議議題書」の導入と継続
	朝礼（申し送り）の見直し	各リーダー・主任による利用者の状態変化に伴うケアの見直しについての連携及び協力体制の定着
	基礎介護の理解	基礎介護勉強会の実施 年6回 8月「接遇」、9月「食事」、11月「移乗」、12月「褥瘡」 1月「認知症」、2月「排泄」 ※3月「入浴」は感染症対応により中止
	ケア方法見直し	口腔ケアの効果と定着のための勉強会及び実践
	高齢者ケア研究会への参加	年2回 平成24年9月（於：東京） 3名 平成25年2月（於：大分） 5名
エルダー制を導入した人材育成の実践を含めた職員教育	定期的な面談による、職員への助言・指導の実施	主任・リーダーの面談方法の統一を図り新人職員の不安を解消、組織人として自覚と、専門職としての責任についての継続支援を行う
	介護職員が働きやすく、専門性を高めることができる支援体制の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・夜勤勤務者へのリフレッシュ休暇導入 介護職 30名…年間3連休（公休+年休2日）の取得 ・個別面談の実施及び、能力評価によるフィードバック ・各研修、勉強会の充実 基礎介護、その他「口腔」「看取り」「泉田氏講義」等
	安全・安楽に介護が提供できる設備・環境づくり	「浴室リフト2台導入」 「介助用グローブ職員貸与」 「ポジショニング用クッション購入」に伴う勉強会実施

① 【中1丁目（特養）】

年間目標：「利用者一人ひとりの生活環境を大切に支援する。」

(自己評価 1:未実施 2:計画的には不十分 3:実施)

取組み	評価	評価内容
楽しく過ごせる余暇時間をつくる (DVDや音楽鑑賞)	2	十分ではなかった。職員間のばらつきがあった。
季節を感じる生活支援をする (外出行事や散歩の機会を増やす)	2	花を飾るなど環境の工夫はできたが、外出行事はほとんどなく、散歩なども少なかった。
リビングや居室を清潔にする。	2	比較的できていたが、細かい部分に関しては清潔を保つことができていなかった。
ゆったりとくつろげる環境づくり	2	全体的にはゆっくりと過ごせる環境づくりはできていた。

ユニット内の環境づくりにおいて、花を飾るなど、季節感を感じられるように工夫できた。反面、外出行事や散歩などについては、十分取り組むことができていなかった。また、環境や清潔保持、行事に対する意識に職員間の格差があり、入所者にとってさらに過ごしやすい環境づくりにユニット全体で取り組む意識を高める必要性がある。

② 【南1丁目（特養）】

年間目標：「一人ひとりに関わりを持つことができるよう居室の環境整備・整頓に努め、家族とコミュニケーションを図る機会を多く持つ。」

(自己評価 1:未実施 2:計画的には不十分 3:実施)

取組み	評価	評価内容
家族来荘時は近況報告を行う。	2	少しずつ意識付け、近況報告もできてきたが、挨拶だけになってしまうことも多い。 ※職員差がある。
居室で長く過ごす方とのコミュニケーション機会を増やす。(リラクゼーション、音楽など)	2	音楽をかけることはできたが、もう少し声かけや訪室の機会を増やしたらよかった。
リビングで過ごす時間が長い方へのレクリエーションの提供。	2	音楽や好きなテレビ番組の観賞を、ソファ等でゆっくり過ごしていただけるようなアプローチはできた。 ※職員主体のレクリエーションは未実施。

居室内の環境整備、パブリックスペースの整備が不十分である。一人ひとりとの関わりは意識してできた面もある。

③ 【南2丁目 (特養)】

年間目標：「利用者のペースでゆっくり過ごしながら楽しみのある生活を送ることがができる。」

(自己評価 1:未実施 2:計画的には不十分 3:実施)

取組み	評価	評価内容
利用者の体調管理、残存機能の維持に努める。	2	まずまずできた。
季節感のあるイベントを提供する。	3	毎月かかさずできた。
利用者の声に耳を傾け対応する。	2	まだまだ利用者の気持ちに寄り添うことができていないと思う。

毎月季節感のあるイベントを実施し、利用者の笑顔を見ることができた。ただ、利用者の声に耳を傾け対応することでは、『できること』と『できないこと』で、スタッフも色々悩み、どう対応するのがよいのか分からず、できていなかったことが多いと思う。利用者の心に寄り添っていけるよう、取り組んでいきたい。

④ 【中2丁目 (特養)】

年間目標：「利用者一人ひとり生活ペースを大切にしながら、本人の能力を活かした生活支援を行う。」

(自己評価 1:未実施 2:計画的には不十分 3:実施)

取組み	評価	評価内容
一人ひとり落ち着けるユニット環境をつくる、	2	少しずつではあるが、一人ひとりが落ち着ける居場所づくりができた。今後和室の活用を行っていききたい。
生活リハビリを心がける。	2	日常生活の中での立位保持や口腔リハビリを行っているが、今後も継続していききたい。
季節を感じるができるイベントの実践。	3	行うことができた。今後は季節に合った食事作りも考えていききたい。
家族との関わりを深め、情報交換を積極的に行う。	2	スタッフ全員が少しずつでも、ご家族との関係づくりを行っていききたい。

スタッフ一人ひとり、少しずつではあるが利用者の生活ペースを大切にしながら支援できた。イベントでは季節の食事を味わうことができない利用者がいたため、その方たちの対応を今後考えていききたいと思う。また、ご家族に対しての近況報告を含む情報交換が疎かになっていることがあった。スタッフ全員が対応できるようにしていきたい。

⑤ 【北2丁目（短期）】

年間目標：「利用者が次も利用したいと思っていただけるよう支援する。」

（自己評価 1:未実施 2:計画的には不十分 3:実施）

取組み	評価	評価内容
利用者の希望を取り入れた余暇活動を計画する。	2	お口の体操など、食事前の体操はできている。レクリエーションなど、利用者を楽しんでいただける活動があまりできていない。
季節を感じるができるイベントの実施。	2	年間通して季節感のある食事のイベントができたが、下半期は少なくなった。
リビングの家庭的な環境整備（安らげる雰囲気づくり）	2	ハロウィンやクリスマスなその飾りや掲示物を利用者と一緒に作り、飾ることで暖かい雰囲気できた。2番地は少し乏しかった。
面会の方へのあいさつと近況報告に心がける。	2	お茶をお出しし、日頃の様子をお伝えしているが、できていない時もみられた。面会時は、一緒にいる時間を大切にし、不必要に立ち入らぬ配慮を心がけた。

利用者やご家族より苦情や要望がみられた。私物（洗濯物等）管理の工夫・徹底を図ると共に、レクリエーション等を企画し、より利用者・家族に安心感や楽しみを感じていただける様に対応していきたい。

⑥ 総評

制度改正があり、施設の基本報酬が引き下げられた。また、3月にはノロウイルス感染症が発生し、利用者・職員の負担増と共に、財政的にも厳しいものとなった。下期からは、基礎介護の充実と栄養マネジメント加算の準備を行い、次年度に向けて対応している。

II. 短期入所生活介護事業（ショートステイ）

中期（10月から12月）には、長期利用者（特養入所待ち）の特養入所に伴い、稼働率が低下した。後期は、居宅介護支援事業所等への広報活動を活発に行い、実績アップにつなげたが、3月のノロウイルス感染症発生に伴って利用制限を行ったため、年間の平均稼働率は昨年とほぼ同等に終わった。

Ⅲ. 通所介護事業（デイサービス）

制度の大幅な改定があり、人員配置や機能訓練・送迎加算等に関する見直しがあった。サービス提供時間の区分変更も行われたが、時間延長へ変更することにより、収入増につながった。また、機能訓練の見直しは、生活リハビリ（廊下やデイルームに花を活ける。職員と一緒に畑を耕し、野菜を育てる。等）として、利用者の特技や持てる力を引き出した。

看護師（非常勤）が12月より2人体制となった。また、平成25年1月より作業療法士（非常勤・月1回）の指導を受け、個別機能訓練の実施がより充実したものになった。

Ⅳ. 居宅介護支援事業

関係機関（地域包括支援センター・医療機関等）との連携を図るため、施設内外の各種研修に参加した。また、利用者のニーズを把握し、利用者個々に沿ったサービス提供の導入を心がけ、適正な居宅支援を行った。

Ⅴ. 在宅介護支援センター

【相談件数及び内訳】

	内訳	件数	合計
区分	新規	75	822
	継続	747	
相談区分	家族	74	822
	本人	535	
	関係機関	191	
	その他	22	
世帯	独居	454	822
	高齢者のみ	138	
	家族同居	191	
	その他	38	
	不明	1	
相談方法	電話	150	822
	来所	140	
	訪問	402	
	その他	130	

【相談内容及び対応】（重複あり）

内容	件数
疾病・健康	587
介護	141
在宅サービス利用	327
入所・入院	17
福祉用具・住宅改修	5
虐待	0
権利擁護	0
消費者被害	1
苦情	0
その他	33

対応	件数
助言・指導	585
情報提供	518
他機関連絡	83
申請代行	34
電話・訪問等での安否確認	253
その他	17

地域包括支援センターの協力機関として東温市から委託を受け、高齢者の実態把握、相談活動等を行った。また、地域のサロン活動支援者の会に参加して施設紹介を行い、高齢者のニーズや在宅高齢者の情報を共有し地域福祉に取り組んだ。

VI. 防災・救命

【訓練実施状況】

	第1回消防訓練	第2回消防訓練	第3回消防訓練	普通救命講習(1)
想定内容	昼間の火災 (1階陶芸室)	地震	夜間の火災 (1階厨房)	
日付	7月10日	9月27日	12月27日	8月22日
実施時間	14:00~18:00	17:00~18:00	20:00~20:30	18:00~21:00
場所	ガリラヤ荘	東温市防災センター	ガリラヤ荘及び職員宅	ガリラヤ荘
参加者数	職員(厨房含む) 利用者150名	職員14名	職員80名	職員21名
内容	実際に火災報知機を作動。通報・初期消火・連絡・利用者の避難を実施。消防署の講評を受け消火訓練を行った。	消火・地震・煙避難体験を行った。	実際に火災報知機を作動。通報訓練と夜間緊急時連絡表を使った非常招集訓練を行った。	心肺蘇生法・AEDの使用方法・異物除去法・止血法等を学び、受講者全員、普通救命講習修了証を取得した。

VII. 各委員会報告

【衛生管理委員会】

毎月委員会を行い、感染予防マニュアルの再確認・職員の健康管理についてのチェックを行い、改善点の周知・徹底を図った。しかし年度末にノロウイルスの感染症拡大があり、入所者・職員共に罹患者が発生した。同時に、感染症対策として徹底できていない部分や、職員個人の認識の甘さが露呈した。今後、現場でより分かり易く活用できるようマニュアルの見直しを行う。

【苦情相談委員会】

平成 24 年度苦情件数 5 件

- 〈内容〉
- ・ 家族の希望した対応ができていない
 - ・ 職員の言葉遣いが悪い
 - ・ 肌着が便汚染されていた
 - ・ 食事の内容が悪い
 - ・ 整容、清掃ができていない

【褥瘡対策委員会】

毎月委員会を行い、各ユニットから予防対策が必要な入所者を抽出し、専門機関（皮膚科・理学療法士等）と連携を取り、具体的な方策を話し合った。また、実施後の経過報告も行った。今後は、栄養マネジメントと連動しながら早期発見を行い、更なる褥瘡予防に努めていく。

【身体拘束廃止委員会・高齢者虐待防止委員会】

平成 24 年度身体拘束件数 0 件

〈毎月委員会を開催し、以下の取り組みを実施〉

- ・ 施設指針の確認と意思統一を図り、気持ちの良い対応、拘束・虐待が起り得ない環境作り
- ・ 職員へのアンケート、部署ごとの検討事例と目標設定、不適切なケアがないかの確認

【余暇活動・機能訓練委員会】

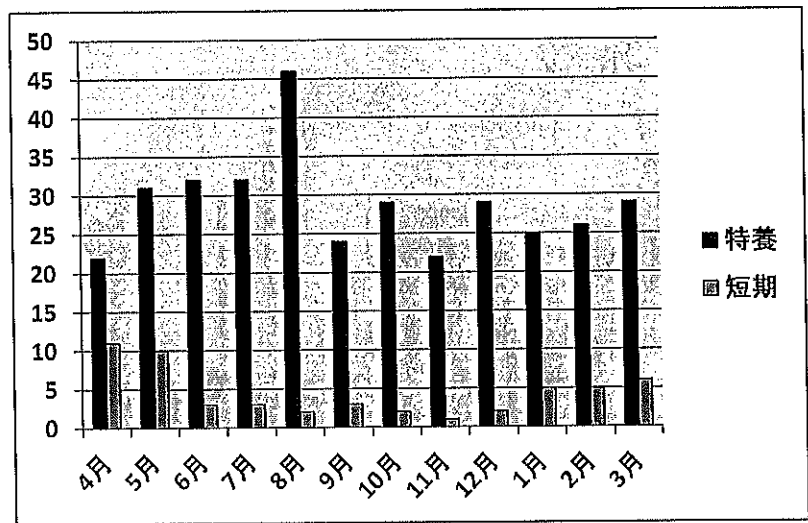
集団体操・お口の体操等の実施状況や各ユニットでの行事の取組みの報告を行い、他のユニットの状況を知ることで、自ユニットでの活動につなげた。また、機能訓練指導員から個別機能訓練内容の伝達を行い、実施状況の確認・徹底を図った。利用者が笑顔になる活動についてのアンケート調査を行い、手・足浴等実施可能なことから取り組んだ。

【事故発生防止委員会】

①月別発生件数

月	特養	短期	総数(月)
4月	22	11	33
5月	31	10	41
6月	32	3	35
7月	32	3	35
8月	46	2	48
9月	24	3	27
10月	29	2	31
11月	22	1	23
12月	29	2	31
1月	25	5	30
2月	26	5	31
3月	29	6	35
合計(年)	347	53	400

(前年度 388件)



②内容別発生件数

その他	202
転倒	92
転落	69
服薬ミス	9
異食	8
食事提供ミス	6
在宅酸素ミス	4
対人トラブル	3
誤嚥	2
胃チューブ抜去	1
喫煙	1
リフト使用ミス	1
口腔ケアミス	1
意識消失	1
合計	400

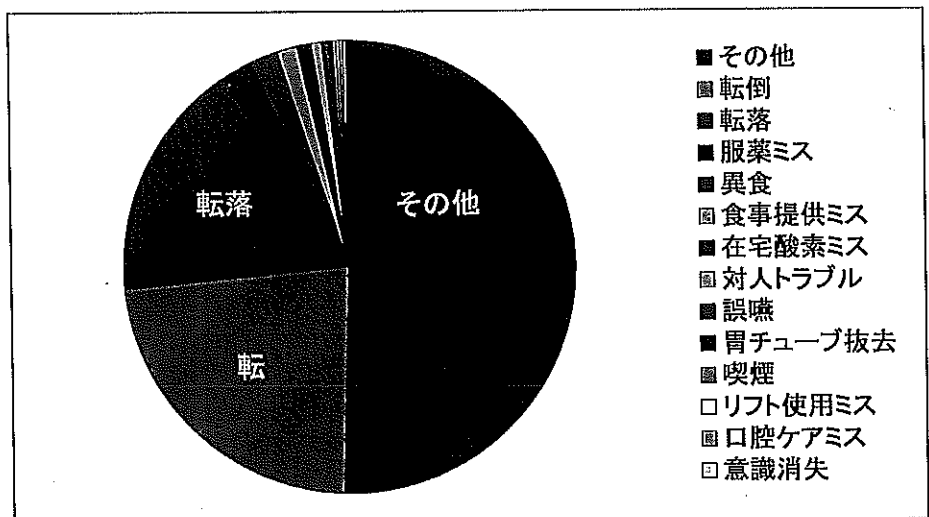
…表皮剥離、内出血等軽微な怪我の発生、原因が未確定な事例を含む

…立上りや歩行での転倒

…車椅子、椅子、ソファなどからの尻もち、座り込みを含む

…酸素の装着及び確認ミス

…利用者間での口論や喧嘩



②-1 病院受診を行ったケース・・・14件

内容	件数	発生率
転倒	7	7.6%
その他	4	2.0%
転落	2	2.9%
意識消失	1	100.0%
合計	14	3.5%

…救急搬送

②-2 市町事故報告届け出件数・・・9件

入院	その他	10/26	1	移乗介助（左上腕骨近位骨折）
		2/15	1	不明（左大腿骨転子部骨折）
受診	転倒	4/22	1	歩行（右顔面打撲・右手切傷）
		10/12	1	歩行（後頭部打撲）
		12/30	1	歩行（右肩脱臼）
		1/20	1	歩行（右大腿骨頸部骨折）
	転落	12/14	1	車椅子移動（右額・鼻裂傷）
相談（病院）	服薬ミス	4/9	1	誤薬（異常なし）
死亡	意識消失	1/4	1	入浴中（急変）
合計			9	

※受診のうち5件については受診したが、異常がなかったものとして未報告。

③発生（発見）場所件数

居室	237	59%
リビング	107	27%
浴室（ユニット）	18	5%
脱衣室	9	2%
居室トイレ	8	2%
共用トイレ	5	1%
廊下	5	1%
浴室（特浴室）	4	1%
玄関（ユニット）	3	1%
和室	2	1%
階段	1	0%
居室ベランダ	1	0%

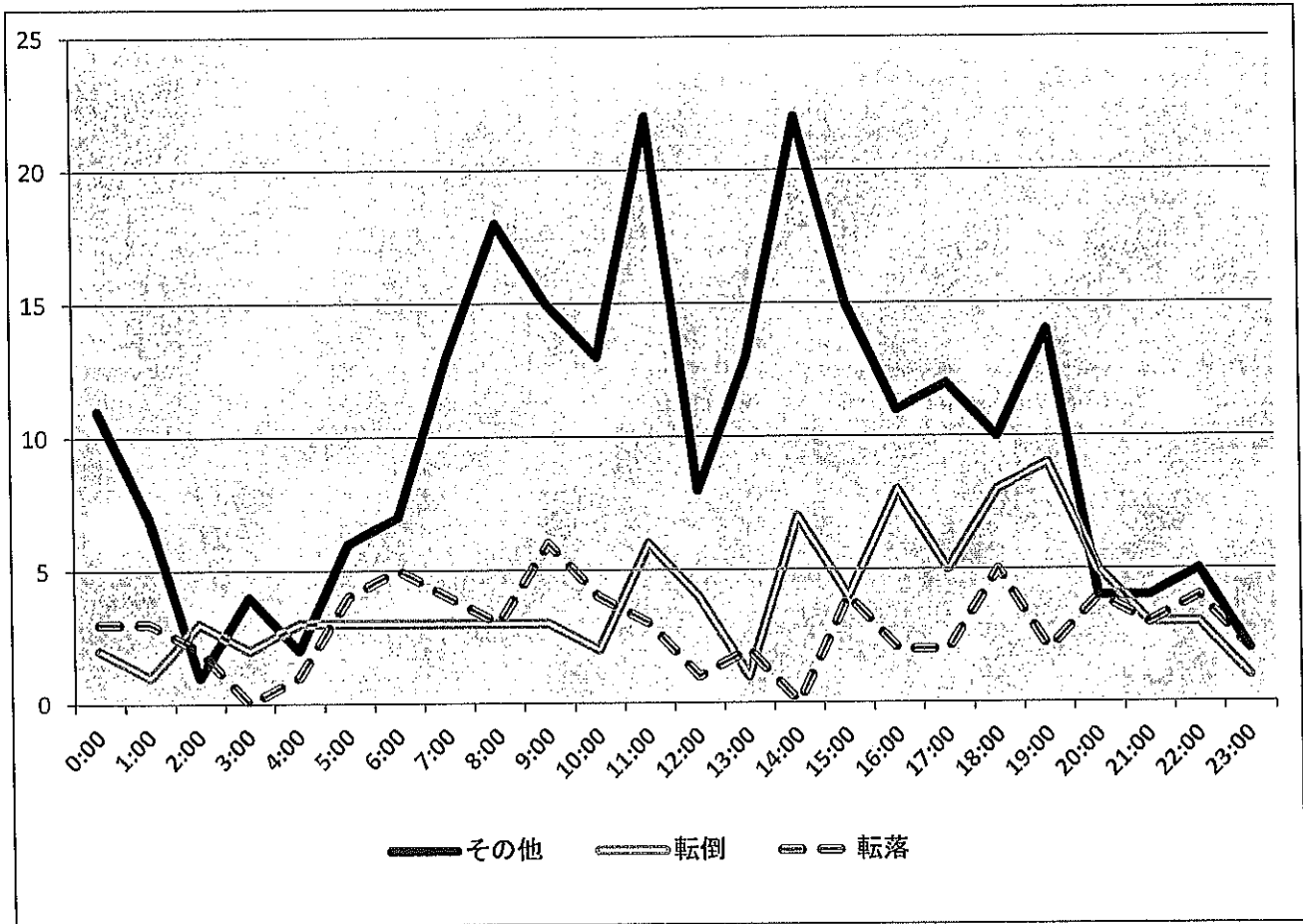
④発生（発見）状況件数

ベッド上	108	27%
移動（歩行）	59	15%
車椅子上	54	14%
移乗	45	11%
食事	19	5%
排泄（トイレ）	19	5%
椅子	18	5%
移動（車椅子）	17	4%
更衣	17	4%
入浴（個浴）	13	3%
排泄（おむつ）	12	3%
その他	11	3%
不明	5	1%
入浴（特浴）	3	1%

⑤発生（発見）時間帯件数

時間	その他	転倒	転落	総数（時）
0:00	11	2	3	16
1:00	7	1	3	11
2:00	1	3	2	6
3:00	4	2	0	6
4:00	2	3	1	6
5:00	6	3	4	13
6:00	7	3	5	15
7:00	13	3	4	20
8:00	18	3	3	24
9:00	15	3	6	24
10:00	13	2	4	19
11:00	22	6	3	31
12:00	8	4	1	13
13:00	13	1	2	16
14:00	22	7	0	29
15:00	15	4	4	23
16:00	11	8	2	21
17:00	12	5	2	19
18:00	10	8	5	23
19:00	14	9	2	25
20:00	4	5	4	13
21:00	4	3	3	10
22:00	5	3	4	12
23:00	2	1	2	5
合計	239	92	69	400

発生（発見）時間帯件数



考察《全体》

- I 上半期について発生件数が増加傾向にあったため、委員会内での事例検討、ユニットでの発生状況の分析と周知をすすめ、下半期には多少減少傾向につながることができた。
報告件数については、重大事故につながる可能性のあるヒヤリハット記録を含めている。
- II 事故内容については、その他として、内出血や表皮剥離の事例が増加している。これについては、血液凝固阻止剤の服薬者（出血が止まりにくい）や老人性紫斑（皮膚の老化）により、しやすい利用者が多くなっている。
また、転落転倒が原因ではない骨折が2件発生しており、これについては、移乗介助や体位交換等での無理な姿勢や動作が原因として考えらる。特に経験の浅い職員への技術の習得が課題である。
なお、入浴後の急変（死亡）については事故ではないが、市への報告を行った。
- III 発生（発見）時間帯については、早朝から夜での時間帯が多くなっている。ユニットの特性である、利用者個人個人の生活リズムで生活できることが良い面であるが、事故のリスクも高くなること分かる。
特に、転倒については、昼食以降から、就寝時間頃までが増加傾向にあり、転落は午前の方が多い。このことから、午前は居室で過ごす方が多い中での転落や、覚醒状態が悪い方の車椅子での転落に注意が必要である。また、午後は覚醒状態や、認知症高齢者の周辺症状（不穏や多動）からの転倒に注意が必要と考えられる。

VIII. 行事・研修

月	施設行事	職員研修
4	永眠者記念会 歌姫コンサート お花見外出 うどん外出 松山城南高等学校介護実習	新任・現任者研修 職員会(看取り研修) 実習指導マニュアルに関する研修
5	花の日訪問(松山東雲短期大学付属幼稚園) 愛隣保育園芋の苗つけ 動物園外出(3日間) 床清掃・ワックス掛け 空調フィルター・網戸・窓ガラス清掃	介護支援専門員専門研修(専門研修課程Ⅰ) 中予老協「リーダーシップ研修会」 中予老協「第1回総会・施設長研修会」 東温防火管理者連絡協議会理事会・総会
6	花の日訪問(川上教会) 花の日訪問(松山城南高等学校) ミージカル『幕末ガール』鑑賞外出 愛媛大学医学部看護科介護体験 河原医療福祉専門学校介護実習	介護支援専門員専門研修(専門研修課程Ⅰ) 介護福祉実習報告会 施設での看取りから学んだこと 排泄ケアセミナー 介護支援専門員更新(専門)研修課程Ⅱ 職場内研修担当職員研修会(ストレスケア) 新しい認知症の介護について 県老協「第1回総会・施設長研修会」 平成25年3月新規学校卒業予定者対象求人手続等説明会 県地域包括・在宅センター協議会「第1回総会・管理者研修会」 介護職員技術向上講習会(認知症介護・中級コース) 中予老協「個別ケア推進研修会」 特養および認知症高齢者グループの整備に係る事業者説明会
7	サマーボランティア受入 レインボー演奏会(トーンチャイムボランティア) 消防訓練(総合・消火・通報・避難) 河原医療福祉専門学校介護実習 東温高等学校ヘルパー2級実習 東温高校奉仕活動(83名)	介護支援専門員更新(専門)研修課程Ⅱ 社会福祉援助技術現場実習連絡協議会 介護相談担当者研修会「介護の悩みを抱えた方々に不安を解消していただくために」 介護職員技術向上講習会(身体介護・前期)「生活支援技術」のための基礎知識 学内福祉就職相談会 持ち上げない介護(腰痛予防と体位交換) 第8回愛媛県老人福祉施設大会 介護職員技術向上講習会(身体介護・前期) 安全運転管理者講習 安全な吸引方法 サービス向上研修会 第1回スーパービジョン ターミナルケア研修会 第1回介護支援専門員部会研修会
8	しあわせのつどい(国際ホテル) 入居者レントゲン健診 お盆帰り推進 グループホームやわらぎ夏祭り参加 TOON音2演奏会(トーンチャイムボランティア) 松山まつり(ねたきりになら連)参加 普通救命講習Ⅰ 松山城南高等学校介護実習 東温高等学校ヘルパー2級実習 福祉の仕事1日体験(川内中学校) 松山東雲女子大学社会福祉士実習 聖カタリナ大学社会福祉士実習	介護支援専門員更新(専門)研修課程Ⅱ 高齢者福祉施設の大規模災害対策セミナー 愛媛県民間社会福祉事業従事者退職年金共済事業における事業所説明会 福祉就職セミナー2012「求人事業所面談コーナー」 介護力向上研修会 排泄ケア研修会(スキルアップ) 愛媛県喀痰吸引等研修(不特定の者対象) 介護職員技術向上講習会(認知症介護・上級コース)「認知症介護のリーダーとして」
9	東温市長一日施設長就任・赤ちゃんこ贈呈式 運動会 消防訓練(地震・煙避難体験) レインボー演奏会(トーンチャイムボランティア) 愛媛大学医学部介護体験 河原医療専門学校老年看護学実習 松山東雲女子大学社会福祉士実習 聖カタリナ大学社会福祉士実習 介護相談員合同連絡会	愛媛県喀痰吸引等研修(不特定の者対象) 第8回全国高齢者ケア研究会先進事例フォーラムIN 東京 食に関する研修会

行事・研修

月	施設行事	職員研修
10	秋祭り(松瀬川獅子舞保存会施設訪問) 空調フィルター・網戸・窓ガラス清掃 東温市議会議員選挙不在者投票 ショッピング外出 河原医療福祉専門学校介護実習 愛媛大学医学部看護科老年看護学実習	愛媛県喀痰吸引等研修(不特定の者対象) 実地研修指導者養成研修 愛媛県認知症介護実践者研修 中予老協「薬副作用研修会」
11	収穫感謝訪問(松山東雲短期大学付属幼稚園) 収穫感謝訪問(川上教会) 東温市文化祭出展・見学 床清掃・ワックス掛け レインボー演奏会(トーンチャイムボランティア) 愛隣保育園芋掘り シヨートステイ創立記念食事会 河原医療福祉専門学校介護実習 東温高等学校インターンシップ 愛媛大学医学部看護科老年看護学実習 松山東雲女子短期大学介護実習 松山城南高等学校介護実習	メンタルヘルス講習会 コミュニケーション研修会 高齢者施設における感染症(HIV感染症等)に関する研修会 高齢者の摂食・嚥下リハビリテーション
12	年末年始里帰り推進 東温市社協歳末施設訪問 ウインターボランティア受入 消防訓練(夜間想定) 衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査不在者投票 川内婦人会歳末訪問 河原医療福祉専門学校介護実習 松山東雲女子短期大学介護実習	社会福祉法人新会計研修会 サービス向上研修会「クレーム対応(ロールプレイ強化版)」 ユニットケア研修会
1	新年会 松山城南高等学校介護実習 河原医療福祉専門学校介護実習	浮腫のケア 日常生活の中でできる取組 初級(初任)リーダー研修会
2	聖カタリナ大学介護実習 松山大学社会福祉士実習	第4回先端ケア研究会in大分国東 社会福祉施設監事監査研修会
3	レインボー演奏会(トーンチャイムボランティア) 家族会総会 聖カタリナ大学介護実習 松山大学社会福祉士実習	中老協「第2回総会・施設長研修会」 県地域包括・在宅センター協議会「第2回総会・管理者研修会」 県老協「第2回総会・施設長研修会」 介護事業に係る労働関係法令説明会

通 年	各ユニットでの誕生昼食会	医師の回診 囁託医6名
	おやつ、お茶の時間(毎日)	選択食(週1回)
	リハビリ	訪問販売(スーパーともちか)
	訪問理容(カット愛)	

ク ラ フ 活 動	生花(毎週火曜日) 俳句会(第3月曜日)	陶芸(毎週水曜日)
ソ シ ャ ル の 場	川内ともしび会 三津教会 紙芝居ボランティア	介護相談員 傾聴ボランティア(笑顔に会いたい)
委 員 会 活 動	運営委員会 安全委員会(事故防止検討委員会) 衛生委員会 身体拘束廃止委員会 虐待防止委員会 口腔ケア委員会	余暇・機能訓練委員会 給食委員会 苦情解決委員会 入所判定委員会 ケア向上勉強会

Ⅸ. サービス別 利用実績一覧

特別養護老人ホーム 定員80名・8ユニット（1ユニット定員10名）

項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計/平均	予算	H23年度実績
平均介護度	4.01	4.01	4.08	4.06	4.11	4.13	4.1	4.05	4.06	4.05	4.08	4.09	4.07		4.08
延べ利用人数	2,256	2,320	2,313	2,335	2,339	2,213	2,346	2,220	2,390	2,358	2,161	2,370	27,621		
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365		
平均利用人数/1日	75.2	74.8	77.1	75.3	75.5	73.8	75.7	74	77.1	76.1	77.2	76.5	75.7	76.9	75.8
（平均）稼働率	94.0%	93.5%	96.4%	94.2%	94.3%	92.2%	94.6%	92.5%	96.4%	95.1%	96.5%	95.6%	94.6%		94.8%

ショートステイ 定員20名2ユニット（1ユニット定員10名）

項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計/平均	予算	H23年度実績
延べ利用人数	494	453	412	475	488	475	408	321	401	456	443	502	5,328		
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365		
平均利用人数/1日	16.5	14.6	13.7	15.3	15.7	15.8	13.2	10.7	12.9	14.7	15.8	16.2	14.6	15	14.0
（平均）稼働率	82.3%	73.1%	68.7%	76.6%	78.7%	79.2%	65.8%	53.5%	64.7%	73.5%	79.0%	81.0%	73.0%		70.2%

デイサービス 利用定員30名

項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計/平均	予算	H23年度実績
介護利用実人数	48	52	50	49	52	51	52	54	51	49	49	50	51		
介護利用延べ人数	439	490	436	475	492	478	502	471	426	388	436	401	5,434		
稼働日数	25	27	26	26	27	25	27	26	25	24	24	26	308		
平均利用人数/1日	17.56	18.15	16.77	18.27	18.22	19.12	18.59	18.12	17.04	16.17	18.17	15.42	17.63	21	17.10
（予防）利用実人数	10	11	11	10	11	11	10	11	8	8	9	10	10.00		

居宅介護支援事業所

項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	予算	H23年度実績
介護支援専門員数	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	3.5		
介護利用人数	78	81	83	85	88	86	86	83	86	86	79	80	83.4	91	77.9
（予防）利用人数	23	24	23	23	22	24	23	24	20	21	21	21	22.4	22	22.3
新規利用人数	4	4	2	3	4	3	3	1	7	4	1	3	3.3		
訪問調査件数	5	5	5	5	6	5	3	6	5	5	6	6	5.2		

X. 職員の状況

部門 等	H24年 3月末	H24年度中の状況			H25年 3月末	常勤換算 (3月)
		入職	退職 (年度末退職者含)	異動		
特養+ショート	79	+14	-12	-2	79	64.7
（介護職員）	59	+12	-10	-1	60	46.2
（看護職員）	8	0	0	0	8	7.5
（その他）	12	+2	-2	-1	11	11.0
デイ	9	+2	-2	+1	10	8.5
支援+居宅	5	0	-1	+2, -1	5	4.6
計	93	16	-15	0	94	77.8

